

鎌倉市川喜多映画記念館 令和6年度（2024年度）第4四半期実績評価

1 記念館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

・この四半期の来館者数は5,617人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値5,157人に対して、460人、約9%の増となった。

月別来館者数:1,265人(1月)、1,917人(2月)、2,435人(3月)

2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務

● 施設・設備の維持管理

・通常の設備保守・点検等が適切に実施されている。

・館内環境について適宜報告があり、記念館の環境維持に配慮した施設管理を実施している。

● 資料等の維持管理

・施設の特性を考慮しつつ、適正な維持管理が行われている。

3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務

● 上映及び展示

・展示事業は、10月から開催していた特別展「女優から妻へー生誕100年 高峰秀子という生き方」を1月13日まで開催した。次に、1月19日からは通常展「映画字幕翻訳の仕事ー1秒4文字の魔術」を開催した。この企画では字幕翻訳者や制作会社、手書き時代のタイトルライターなどの仕事を、市内在住の字幕翻訳者等から借用した関連資料等とともに紹介した。さらに、本展示事業と連動したトークイベント等を実施したところ、アンケート等を通じて、参加者から好意的な評価が多数寄せられた。

・上映事業は、企画展と連動させ「第三の男」やシネマセクション「生誕100年の映画人」で扱った作品はどれも好評であり、特に「八甲田山」は今回記念館で初上映されたこともあり、全回満員であった。また、3月29日に「瞳をとじて」の特別上映を行い、チケットは完売となった。

● 調査、研究及び情報提供

・次期展示の調査研究のため、関連施設やゆかりの地等を訪ね、情報収集や打ち合わせを行った。

● 広報及び宣伝等

・市広報に展覧会や上映内容などの情報を掲載しており、さらに、市役所本庁舎内のモニターによる広告も利用し、より多くの市民等に向けて利用促進の情報発信を行った。

● その他の事業

・「女優から妻へー生誕100年 高峰秀子という生き方」の一環として、高峰氏と関わりのあった鎌倉文士をテーマに散策ツアーを行った。

・業界の第一線で活躍している映画字幕翻訳者たちによるトークイベントを開催した。

・テレビや映画を作るうえで土台となるシナリオを初心者にもわかりやすく講義する「はじめてのシナリオ」教室を全3回にわたって開催した。

4 その他市長が定める業務等

● 事務処理

・例月の指定管理業務報告書を決められた期日までに提出した。

● 事故・苦情対応

・事故や苦情等があった際は、内部で情報共有を行い、速やかに市へ報告するとともに対応策を検討している。

● その他

・2025年3月末まで近隣文化施設5館とスタンプラリーを実施した。

・2025年1月24日 全国映画資料アーカイブサミット2025にオンライン参加。

・2025年1月12日、2月28日、3月21日 企画展に関連したギャラリートークを実施

・上映作品に関連した上映解説やアフタートークを複数回実施

・2025年1月26日 鎌倉市福祉総務課主催事業の上映会に協力し、講演を行った。

・3月18日から24日にかけて、鎌文ネット連携施設による地下道ギャラリー展示を実施

5 全体評価

・この四半期の来館者数は5,617人で、昨年同四半期の5,319人に比べて、298人・約6%分増加した。また、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(5,157人)の約108.9%と、評価水準の80%を大きく上回った。アンケートなどによると企画展やイベントへの評価が高く、来館者数の増加につながったと思われる。また、上映事業についても満席になることも多く、これまでも来館者に興味を持ってもらえる企画立案を丁寧に行い続けてきた結果の現れであると考えている。引き続き、映画を専門とする施設として、市民へ文化発信できるよう、努められたい。

・鎌倉市福祉総務課主催事業の上映会に協力し、講演を行った。より多くの市民に記念館のことを知ってもらえるように、映画文化への理解が深まるイベント等を通じて、今後も積極的に本市の事業に取り組んでもらいたい。

- ・特別展「女優から妻へ―生誕100年 高峰秀子という生き方」に連動して、鎌倉文士をテーマとした散策ツアーを行ったことについては鎌倉市における「文学」と「映画」の文化を複合的に体感できる優れた企画であった。今後もぜひ多角的な視点を持つ企画を意欲的に実行されたい。
- ・「映画字幕翻訳の仕事―1秒4文字の魔術」について、映画と密接に関わりがあるものの脚光を浴びにくい部分に焦点を当てたことは、映画文化発信を専門とする施設ならではの着眼点であり、開催後のアンケートでも全体を通して非常に好評だった。また今回の企画の一環で国立映画アーカイブをはじめとした専門施設から借用した資料の外にも、市内在住の映画字幕翻訳者たちの協力も得て企画を遂行したように、今後も市民から親しまれるイベントや運営を行うことを期待している。
- ・友の会の会員登録数について令和7年3月時点で過去最高の登録者数となった。日頃から記念館の積極的な広報・周知や運営に努めていることなどの積み重ねにより着実にファンを増やしている。今後も館の魅力の発信、提供に努め、幅広い登録者の獲得に繋げて欲しい。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市川喜多映画記念館 令和6年度（2024年度）第4四半期判定評価

評価項目	判定点	第4四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
資料等の維持管理			
資料等の維持管理は適切に実施されているか	5	○	
3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務			
上映及び展示			
計画どおりに企画展が開催されているか	5	○	
予定どおり映画上映が実施されているか	5	○	
調査、研究及び情報提供			
映画関連資料等の調査・研究を行っているか	3	○	
研究の成果を公開しているか	3	○	
その他必要な業務			
展示・上映以外の事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率	
減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%